

2024年度 関私教協 第6回幹事校会議事録

1. 日時：2024年9月30日（月）18:30～19:45

2. 形態：オンライン会議

3. 出席者

【幹事】高瀬 幸恵（桜美林大学・事務局長）、尾高 進（工学院大学・事務局次長）
岡田 佳子（芝浦工業大学・事務局次長）、山下 暁子（青山学院大学）、
黒住 早紀子（駒澤大学）、坪井 瞳 [青木 研作代理]（東京成徳大学）、
大家 まゆみ、河野 誠哉（東京女子大学）、黒沢 学（東京電機大学）、
木之下 健一、須藤 和代（目白大学）、白石 一徳（文化学園大学）、
森田 満夫（立教大学）、斎藤 遼太郎（茨城キリスト教大学）、
北村 篤司、横澤田 朋美（昭和音楽大学）、小澤 真紀（芝浦工業大学）、
福山 多江子、古橋 真紀子（東京成徳短期大学）

【事務担当】岩井 瑞恵（桜美林大学）

【オブザーバー】古賀 毅、仲村 啓介、山崎 恭輔（千葉工業大学）
大室 さおり、山口 賢（芝浦工業大学）、黒岩 友見子（桜美林大学）

4. 代理出席者、オブザーバー参加者について確認した。

5. 2024年度第5回幹事校会議事録の確認

高瀬事務局長より、第5回幹事校会議事録（案）が示され、これを承認した。

6. 協議

【報告事項】

(1) 小松伸之先生（清和大学）の件

第3部会部会長を務めておられた小松先生が8月28日に逝去された。小松先生には今年度の臨時総会で議長団を務めていただき、また千葉・茨城地域の活動にもご尽力いただいたことから、メール審議を経て関私教協として葬儀に供花をお贈りした。家族葬のため、多くの方の参列は受け付けないとのことであったため、事務局長の高瀬が関私教協を代表して9/6のお通夜に参列した。これとは別に千葉・茨城地域より弔電をお贈りしたとの報告があった。第3部会については、現在副部会長を務めている神奈川工科大学の田辺先生が部会長代理として運営を担って下さることになっている。

現在、慶弔費に関するルールはないが、今後ルールを設けるかどうかも含めて改めて相談したい。

(2) 研究部の活動について

- ・第1部会：第2回の部会を11/24にオンラインで実施することが決まった。
- ・第2部会：第2回の部会を9/11にオンラインで開催した。本部会では、教職課程に資する学生を対象とした実態調査アンケートの開発をテーマとしている。東京理科大学の眞田先生よりアンケートの事例を紹介していただき、参加大学の状況について情報交換を行った。
- ・第3部会：第2回の部会を10/17にオンラインで開催予定である。現在、教員採用の早期化・複線化やカリキュラム改編に関して部会に所属している大学を対象にアンケートを実施しているところである。その回答をもとに部会でディスカッションを行うことになっている。
- ・第4部会：第2回の部会を10/12にハイフレックス形式で東京成徳短期大学を会場として開催する予定である。
- ・第5部会：第2回の部会を10/12にオンライン形式で開催する。千葉県教育庁の採用担当の方をお招きして、千葉県における教員採用の現状について報告をしてもらう予定である。
- ・第6部会：第2回の部会を9/12に実施した。テキストマイニングの専門家である尚絅学院大学

荒尾先生にオンラインで参加していただき、昨年度のハラスメントに関する調査結果をどう読み解くかについて教示していただいた。次は11月に部会を開催する予定である。

- ・第7部会：第1回の部会（7/28）の参加者は4名（すべて対面）であった。部会長は工学院大学の尾高先生が担当される。

第2回の部会を9/19にハイフレックス形式で開催した。東京都市大学の高橋先生より教職課程および数学教育法の実践について報告していただいた。次回は11/14に玉川大学特任教授の方に教育実習を中心とした履修プログラムについて報告をしていただく予定である。

- ・第8部会：部会のこれまでの研究成果と課題について検討することになっている。他の部会との差別化を図るのか、あるいは統合をしていくべきかについて総括的な検討を進める。11/2に青山学院大学にて対面で部会を開催する予定である。
- ・千葉・茨城地域：日程調整を行っているところである。
- ・神奈川・山梨地域：現在のところ特に報告事項はない。
- ・北部地域：10/24にオンラインで研究会を行う。北部地域における教員採用試験の早期化・複雑化をテーマとして、埼玉県教育局の採用担当者に話題提供をお願いするとともに、大学同士の情報交換を行う予定である。

(3) 広報部の活動について

- ・北村広報部長より、『会報』第96号の原稿が10/7に集まる予定であり、その後、広報部で校正作業を行う旨の報告があった。

(4) 臨時総会出席校数の修正について

- ・事務局より、前回の幹事校会での承認を経て、臨時総会出席校数の訂正について8/27に会員校宛てにメールで通知したことについて報告があった。臨時総会の議事録も訂正し、これをホームページに掲載する予定である。

(5) 次期幹事校へのアプローチについて

- ・東京Aグループ：候補の大学に連絡をした。現在検討中である。
- ・東京Bグループ：東京家政大学に引き受けていただいた。これにてBグループは完了となる。
- ・東京Cグループ：明治大学と和光大学に引き受けていただいた。これにてCグループは完了となる。

(6) 全私教協 2024年度教職課程運営に関する研究交流会について

- ・高瀬事務局長よりプログラムが示され、概要について説明があった。全私教協理事については、交通費と宿泊費を関私教協の予算から支出する。

(7) 2024年度会員校名簿について

- ・事務局より、8/26付けで名簿の情報更新依頼のメールを送信した旨の報告があった。変更の有無にかかわらずフォームにて回答する形とし、10/11を回答期限としている。

(8) 会長校の引継ぎの準備について

- ・高瀬事務局長より、8/23にオンラインにて千葉工業大学の担当者と打ち合わせを行った旨の報告があった。

【審議事項】

(1) 2024年度研究懇話会について

- ・尾高研究部担当より、資料に基づきテーマと概要について説明があった。関私教協の歩みを振り返るとともに、組織のあり方や課題を他地区協議会の情報を得ながら検討したいというねらいがある。関東地区の歩みを木内剛氏に、関東地区の現状と課題について事務局長の高瀬氏に報告をお願いし、東北地区から大迫章史氏と阪神地区から水谷勇氏を招くこととしたい。9/25に講師を含めた打ち合わせをオンラインで行い、今後さらにもう一度打ち合わせを行う予定であるとのこと。以上の内容について承認した。
- ・高瀬事務局長より、『関私教協30年の歩み』の増刷について検討したい旨の説明があった。今後の検討課題とする。
- ・高瀬事務局長より、研究懇話会はハイフレックス運営のため、東北地区と阪神地区にも案内をする旨の提案があった。これを承認した。
- ・会場とオンライン参加のためのURLは工学院大学が用意することとなった。下見の機会を持ち、

接続テストを実施する。

- ・講師謝礼については、一律3万円とすることについて承認した。

【配付資料】

資料1：全私教協2024年度教職課程運営に関する研究交流集会プログラム

資料2：関私教協2024年度研究懇話会の予定

以上